

## 全国訪問教育研究会

# 第27回全国大会（南九州）開催要項

2014年4月20日

### ■大会実行委員長あいさつ■

今年2月、国連の障害者権利条約が我が国でも発効しました。この条約は、「他のものとの平等＝同年齢の市民と同等の権利」「インクルージョン＝排除しない社会」「自立（独立）して地域で生きる権利」を地域や学校で実現していくことを目指しています。そして、教育だけでなくさまざまな分野で合理的配慮が求められていきます。

養護学校教育が義務化されて35年、特別支援教育が始まり7年が経過しました。また、一昨年からは医療的ケアに関しての法改正がなされ、教員でも法的裏付けにより実施が可能になってきました。このような流れのなか、病気や重い障がいのために家庭や施設、病院で行われてきた訪問教育も更に「学校・地域に根ざした教育の在り方」を目指して取り組まなければなりません。

宮沢賢治は、その作品『雨にも負けず』で、

雨にも負けず 風にも負けず

(略)

東に病気の子供あれば 行って看病してやり

西に疲れた母あれば 行ってその稲の束を負い

南に死にそうな人あれば 行ってこわがらなくてもいいといい

北に喧嘩や訴訟があれば つまらないからやめろといい

(略)

そういうものに わたしはなりたい

と詠んでいます。まさに、訪問教育の応援歌でもあります。

宮崎・鹿児島両県共同開催の“南”の地で、そのような思いの教育・医療・福祉等の関係者が、全国の仲間と共に子どもたちを真ん中にして、学習・交流の充実した夏をおくれますよう、お待ちしております。

全国訪問教育研究会第27回全国大会（南九州）実行委員長  
内田 芳夫（南九州大学 人間発達学部 学部長）

### ■大会テーマ■

「学校・地域に根ざした訪問教育を進めよう ～そこにいる、あなたの“ねがい”をうけとめながら～」

### ■開催日時■

2014年8月4日（月）～6日（水） 開場12時00分（開会13時00分）

### ■会場■

南九州大学都城キャンパス

宮崎県都城市立野町3764-1

TEL 0986-21-2111

### ■主催■

全国訪問教育研究会

### ■後援■

文部科学省・全国特別支援教育推進連盟・社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会  
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会  
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク  
(次頁に続く)

（※以下は、申請中です。）

厚生労働省・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
 全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会  
 宮崎県教育委員会・鹿児島県教育委員会・宮崎県特別支援学校校長会・鹿児島県特別支援学校校長会  
 宮崎県保健福祉部障害福祉課・宮崎県医師会

■大会日程■

8/4（1日目）		8/5（2日目）		8/6（3日目）	
12:00	開場・受付開始	9:00	（分科会打ち合わせ）	9:00	（ワークショップ準備）
13:00	開会行事・基調報告	10:00	分科会	9:20	ワークショップ
13:40	第7次全国調査報告	12:30	昼食		（～11:00）
14:15	開催地からの報告 （～15:15）	13:30	分科会 全国訪問親の会懇談会	11:15	全体会 ・閉会行事
15:30	大会記念講演 （～17:00）	16:00	分科会終了 休憩	11:45	大会終了
17:15	全訪研総会（～17:45）	16:30	共同研究者・役員懇談		
		17:30	夕食交流会（～19:30）		

※2日目の午後に、全国訪問教育親の会懇談会を行います。（場所は、同じ会場内です。）

■内容■

（1）「第7次全国調査から見てくる訪問教育の現状と課題」（8/4 13:40～14:10）

全国訪問教育研究会では、4年ごとに訪問教育に関する全国調査を実施しています。今回は、2013年度の調査結果について報告します。

（2）開催地からの報告（8/4 14:15～15:15）

「ここにいる、私の“命のかがやき”を伝えたい！」

離島・僻地などを含む九州の様々な状況のなか、かがやく命を守り育てる教師や関係者の姿を紹介します。鹿児島、宮崎、長崎など各地の取り組みから、そこにいる一人一人の子どもたちや家族の“ねがい”を実現していくこと、そして、改めて訪問教育や特別支援教育について見つめ直します。

（3）大会記念講演（8/4 15:30～17:00）

演題：「訪問学級の子どものねがいに学ぶ ー訪問教育の歩みから」

講師：猪狩 恵美子（福岡女学院大学教授 前全国訪問教育研究会会長）

（講演要旨）

訪問教育は「障害が重くても学校に行きたい、勉強したい」という子どもの願いを受けて始まり、養護学校教育義務制実施に向けた大きな原動力になった教育です。教師・学校と子どもとの出会いは、「学校のあたりまえ」から踏み出していく、子どものニーズに応える教育のあり方を問いかけてきたといえます。一人ひとりのニーズに応える特別支援教育時代を迎えた今、訪問学級の子どものようなねがいを私たちに発信しているのでしょうか。権利としての確かな教育が、いつでも・だれでも・どこでも受けられるよう、ごいっしょに考えてみたいと思います。

（4）全訪研総会（8/4 17:15～17:45）

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針等について総会を行います。

- ①活動報告（2013年8月～2014年7月の全訪研の活動内容）
- ②2013年度決算報告、会計監査
- ③2014年度予算
- ④活動方針
- ⑤規約
- ⑥役員候補
- ⑦事務局員委嘱

(5) 分科会 (8/5 10:00~12:30 13:30~16:00)

※①~⑤、⑨分科会は午前・午後とも行います。⑥、⑦は午前のみ、⑧は午後のみ行います。

⑥、⑦分科会希望の方は、午後の分科会希望を申込書の特記事項にご記入ください。

⑧分科会希望の方は、午前の分科会希望を申込書の特記事項にご記入ください。

分科会名	分科会のねらい (◆共同研究者)	
①健康・身体づくり 1 (障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わり)	○障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について講義・実践を交えながら交流しましょう。(※午前はレポート報告、午後は実技講座を行う予定です) ◆花井 丈夫 (横浜療育医療センター 理学療法士)	
②健康・身体づくり 2 (姿勢づくりや子どもの活動を引き出す関わり)	○姿勢づくりや子どもの活動を引き出す関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について講義・実践を交えながら交流しましょう。(※午前はレポート報告、午後は実技講座を行う予定です) ◆竹脇 真悟 (埼玉県立宮代特別支援学校) ◆桑原 輝男 (東京都立府中けやきの森学園)	
③コミュニケーション 1 (AACを用いたコミュニケーション)	○重度・重複障害児のコミュニケーションを育てるための援助や配慮について、レポートを元に訪問での実践内容を交流しましょう。	子どもたちの表出や表現を援助する手段としてAACが注目されています。そのような実践から学びましょう。AAC:Augmentative and Alternative Communication (拡大・代替コミュニケーション) ◆荻田 知則 (愛媛大学教育学部)
④コミュニケーション 2 (重症児のコミュニケーション)	小中学部の訪問生だけでなく、過年度生など青年期に入っている生徒についても、「コミュニケーション」という視点から幅広く討議をしましょう。	「反応がつかめない」「応答が乏しい」と言われがちな子どもたちですが、丁寧な関わりで意思表示や心の内面を捉えていく実践やその方法について話し合います。 ◆川住 隆一 (東北大学大学院)
⑤あそび・文化	○障害が重く、限られた環境条件の中での「あそび」は、どの教師も親も悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、青年期に入っている生徒への実践についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 <b>☆参加される方は、教材を持ってきてください。分科会内で教材紹介を行います。</b> ◆木下 博美 (全訪研副会長・京都府立舞鶴支援学校)	
⑥施設内の教育	○分教室や施設内学級、施設訪問等の教育内容について、具体的事例を通じて実践を深めていきましょう。また、就学免除者等不就学者の教育保障について関係者との連携を大切にしながら進み始めている実践を交流しましょう。 ◆河合 隆平 (金沢大学)	(※「施設内の教育」分科会、「病気療養児の教育」分科会は、午前中のみです。)
⑦病気療養児の教育	○“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。 ◆猪狩 恵美子 (福岡女学院大学)	
⑧離島の訪問教育	(※「離島の訪問教育」分科会は、午後のみです。)	本土や他の地域が抱える問題や矛盾が集約的に現れるのが離島地域といえますが、特別支援学校(分校・分教室)の設置が進まないなか、離島の訪問教育が大きな課題とされてきました。離島からの報告を受け、離島における訪問教育の現状と課題、教育権保障の今後の展望を話し合います。 ◆猪狩 恵美子 (福岡女学院大学) ◆河合 隆平 (金沢大学)
⑨地域での生活支援と教育 ー医療・教育・生活	○「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、子どもたちの教育と生活を豊かにする地域支援のネットワーク	

	<p>づくりが大切になっています。</p> <p>医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたちから内部疾患を持つ子どもたちの地域での生活など、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と生活を考えていきましょう。</p> <p>(※午前、医ケアについての講義を行う予定です。)</p> <p>◆久保 裕男(社会福祉士・鹿児島国際大学講師・鹿児島第一医療リハビリ専門学校講師)</p> <p>◆下川 和洋(全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぼ一と研究所理事)</p>
--	---

●分科会レポート発表の申込みについて

分科会でのレポート発表を希望される方は、次の①～⑤について、**6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。**レポート担当者より、印刷部数やレポート送付先を連絡します。

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名      ②自宅住所と電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
- ③レポートタイトル      ④使用する視聴覚機器機(ビデオ、パソコン等)
- ⑤レポートの配布などに関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

●レポート発表に関して

- ・大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。パソコン、ビデオ、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。
- ・発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究第27集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくお願ひします。

<p>&lt;レポート担当&gt; 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山 弘子 FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp</p>
---

●大会参加者へのレポートの配布について

- ・各レポート配布はレポーターの判断を尊重します。個人情報保護の観点から、原則としては発表される分科会の中のみとなります。
- ・各分科会の内容は、2015年1月発行の「訪問教育研究第27集」（1100円 送料含む）に掲載されます。大会の会場でも予約を承りますので、他の分科会のレポートを知りたい方はご利用ください。

(6) 全国訪問教育親の会懇談会 (8/5 13:30~16:00)

大会2日目の午後に、全国訪問教育親の会懇談会を開きます。思っていること、悩んでいることを、いろいろ話しに来てください。訪問(卒業生も含めて)の保護者のみなさんの参加をお待ちしています。皆さんのお話に共感し、アドバイスをしてくださる方がいらっしやると思います。場所は、全訪研大会と同じ会場です。

(7) 夕食交流会 (8/5 17:30~19:30)

大会2日目の夕食交流会は、都城駅前の都城ロイヤルホテルにて行います。全国から参加された皆さんに喜んでいただけるような宮崎、鹿児島自慢の郷土料理と本格焼酎を揃えて、お待ちしております。気軽に楽しく交流しましょう。

(8) ワークショップ (8/6 9:20~11:00) 次の6つです。B、C、Dは講義形式で行います。

	ワークショップ名	講師	内容
A	訪問なんでも情報交換会	岡田敏男 (全訪研副会長) 猪狩恵美子 (福岡女学院大学・全訪研前会長)	他県、他校の訪問教育の様子を知りたい。また、自分の学校の訪問教育について知ってほしい、これでいいのか等、様々な悩みについて語り合ひましょう。きっと、明日から、9月からの活力になると思ひます。
B	重症児の発達とコミュニケーション	高木 尚 (全訪研会長)	重症児の意思表示をどう捉えていくのか、関係の中でどんな力が育っていくのか、一緒に考えてみませんか。
C	授業づくり	木下博美 (全訪研副会長)	表出の少ない重度の訪問の子どもたち。どうすれば、その心に触れることができるのか? どんな授業ができるのか? 悩みながらの実践をお伝えします。
D	医療的ケアの動向	下川和洋(全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぼ一と研究所理事)	2011年に「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」が行われ、介護福祉士の他に介護職員等(特別支援学校の教員等も含む)の非医療職が行う痰の吸引等が法律に位置づけられました。2012年4月1日の法施行により、自治体間での取り組みに温度差が出ています。ここでは、国の制度設計や実施上の課題について学習します。

E	教具・おもちゃづくり	金丸 敏 (科学教育研究協議会)	音の出るおもちゃや動くおもちゃなど、明日からの教育実践に活用できる「ものづくり」の実技とその科学的な原理を学びます。作品はお持ち帰りしていただきます。わくわく体験いっぱいの講座です。
F	音楽療法	日高まり子 (宮崎県音楽療法研究会会長 県立みやざき中央支援学校教諭)	音や音楽を通して子どもに寄り添い、生きる力を高め、人とつながることの素晴らしさを伝えてこられた講師です。特に、その呼吸や微細な心や体の動きに合わせ気持ちを引き出していく多彩なアプローチは圧巻です。

(9) 全体会（閉会行事） (8/6 11:15~11:45)

大会最終日の全体会です。以下の内容を予定しています。

- ・大会宣言 ・実行委員長あいさつ
- ・次回開催地への引き継ぎ ・閉会あいさつ ・歌「小さいのち」

■わくわくクラブ（保育）と緊急時の体制について■

実行委員会では、子どもさんや障害があるお子さん連れでも、保護者の方に参加していただきやすいように、わくわくクラブ（保育）を設けます。

●時間帯 次の4つの時間帯でわくわくクラブを実施します。

- (a) 8月4日（月） 13:00~17:45
- (b) 8月5日（火） 10:00~12:30
- (c) 8月5日（火） 13:30~16:00
- (d) 8月6日（水） 9:20~11:45

●緊急時の体制と医療機関（緊急時には、会場近くの病院での対応をお願いしています。）

（病院名）独立行政法人 国立病院機構 都城病院

宮崎県都城市祝吉町5033番地1 TEL: 0986-23-4111

●わくわくクラブ（保育）申込み

- ・大会参加申込書の「わくわくクラブ（保育）の希望」の欄にご記入ください。
- ・申込み受け付け後、お子さんの生活ケアや医療的ケアの様子を知るために、担当者から連絡させていただきますので、よろしくお願ひします。
- ・クラブ参加費用、おやつ代や見学代等の費用をいただきます。
- ・大会当日に、保険証または、そのコピーをご持参ください。

■参加費・宿泊費■

(1) 大会参加費

- |         |             |             |             |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| ・一般     | 3日参加：6,000円 | 2日参加：5,000円 | 1日参加：3,000円 |
| ・全訪研会員  | 3日参加：4,000円 | 2日参加：3,000円 | 1日参加：2,000円 |
| ・保護者・学生 | 3日参加：2,000円 | 2日参加：1,500円 | 1日参加：1,000円 |

※参加費に加えて、お一人につき、500円の手数料をいただきます。（事前申込み、当日申込みのどちらも500円の手数料がかかります。）

※会員と一般は費用が異なりますので、ご注意ください。参加申込みと同時に会員申込みをすることも可能です。参加申込書の「入会を申し込む」の欄に○をつけてください。（会員参加費になります。）

入会には年会費4,000円が別途必要です。会費は大会当日に全訪研受付でお支払いください。

(2) 食事関係代金

- ・昼食弁当代（2日目 8/5） 1,000円
- ・夕食交流会代（2日目 8/5） 5,500円

(3) 宿泊費

会場周辺に、下記のホテルをご用意できます。

(1 泊朝食付き、消費税込の代金です。バリアフリーの対応はあります。)

①都城ロイヤルホテル	シングル	7,500円
②都城ステーションホテル	シングル	7,000円
③サンホテル都城	シングル	7,000円

※ツインをご希望の方、宿泊についてご要望のある方は、名鉄観光（下記の問い合わせ先）まで、ご連絡ください。

■申込み方法■

(1) 大会参加者1人につき1枚「参加申込書」にご記入の上、FAXまたは郵送で、下記の送付先へお送りください。また、全訪研ホームページからもメールで申込みができます。

☆全訪研ホームページ <http://zenhoukenn.web.fc2.com/>

※参加申込者が複数の場合は、恐れ入りますが、「参加申込書」用紙をコピーしてお使いください。

※手話通訳が必要な方は、参加申込書の特記事項欄にその旨をご記入ください。

※宿泊がご不用の場合も、参加申し込みをしてください。

【参加申込書の送付先・問い合わせ先】

〒892-0846	
鹿児島市加治屋町18-8 三井生命鹿児島ビル4階	
名鉄観光サービス(株) 鹿児島支店 【担当：檇 伸吉(あおき しんきち)】	
TEL: 099-227-1311	FAX: 099-227-1758
<u>大会参加申込み締切 6月27日(金)</u>	

(2) 申込み受付後、予約確認書・請求書をお送りします。(受付順に、その都度郵送します。)

(3) お送りした予約確認書・請求書の内容をご確認の上、参加費・宿泊費等の合計金額を指定口座までお振込みください。

<申込み後の取り消しについて>

ご宿泊の取り消しにつきましては、1件1名につき下記の取り消し料金を申し受けます。

ご利用の	14日前～4日前	3日前～2日前	前日	当日12時まで	無連絡不泊
当該料金の	20%	30%	50%	80%	100%

日数は宿泊初日から起算させていただきます。

昼食のキャンセルは、3日前 50%、2日前 80%、前日・当日 100%となります。

※「大会参加費」については返金できません。代わりに、大会記録が掲載された「訪問教育研究 第27集」を2015年1月に送付致しますので、ご了承下さい。

■資料の請求について■

大会に参加できないが大会記録がほしいという場合は、2015年1月に発行される「訪問教育研究 第27集」を送付致します。(送付は来年の1月です。)大会の記念講演や分科会まとめ、その他、訪問教育に関する資料が掲載されています。

下記の郵便口座に資料代(送料込み)として、1100円の入金をお願いします。

振替用紙の「通信欄」に「資料請求代」と明記して下さい。資料請求の受付は、6月27日までです。

【資料請求の振込先】 郵便振替口座番号「00130-2-95934 全国訪問教育研究会」

(※全訪研会員には、2015年1月に機関紙「こんにちば」と一緒に「訪問教育研究 第27集」を送付しますので、資料請求のみの申込みはしないでください。)



# 全国訪問教育研究会 第27回全国大会(南九州)

フリガナ		フリガナ		会場までの交通機関 (○をつけてください)	
申込者名		所属		<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛行機 (宮崎空港着・鹿児島空港着)</li> <li>・電車 (新幹線～都城駅)</li> <li>・高速バス (都城 IC北バス停)</li> <li>・フェリー</li> <li>・車</li> </ul>	大会参加と同時に全訪研に入会申込みをする方は下記欄に「○」をご記入ください
住所	(ご自宅の住所、電話番号をご記入下さい) 〒 -			TEL	( ) -
				FAX (必ず)	( ) -
				携帯番号	
入会を申し込みます					

参加者氏名							交流会	宿泊				お弁当	分科会	ワークシヨップ	保育	係 (司会・発表等)	手数料 500円	合計金額
フリガナ	性別	参加 (参加日に○をつけてください。)				8月5日 5,500円	① 都城ロイヤルホテル 一泊朝食	シングル	7,500円	8月5日 1,000円 (お茶付)								
氏名			全訪研会員	4,000円	3,000円		2,000円	8月4日	② 都城ステーションホテル 一泊朝食		シングル	7,000円	8月5日					
	一般		6,000円	5,000円	3,000円	③ サンホテル 都城 一泊朝食	シングル			7,000円								
	学生・保護者		2,000円	1,500円	1,000円		8月4日			8月5日								
	8月4日 8月5日 8月6日 ○で囲んで下さい																	
例	ミヤザキ タロウ 宮崎 太郎	男・女	○	○	○		○	○	②	○	⑥	A	司会	○	27,000円			
1 (本人)															○	円		
2															○	円		
3															○	円		

●変更・取消による返金の際の口座をご記入ください。			※特記事項 (参加にあたっての希望、前泊の希望、その他)				合計料金
金融機関	銀行・金庫・組合・農協		支店				円
口座番号	普通 当座	No.	⑥、⑦分科会参加の方→午後の分科会 ( )    ⑧分科会参加の方→午前の分科会 ( )				
(フリガナ)	確認後、受付NOを記入したものをFAXにてご返信いたしますので、控えとしてお取り置き下さい。						
口座名義	ご変更などの場合はご面倒ですが、本紙に変更内容を追加記入の上、FAXにてお願いします。						

※お振込いただく“お名前”と同じにして下さい

※参加者記入欄が足りない場合は、申込書をコピーしてご利用下さい

受付No

**■お申込先**  
 〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町18-8 三井生命鹿児島ビル4階  
 名鉄観光サービス(株) 鹿児島支店  
 全国訪問教育研究会 第27回全国大会係  
 電話：099-227-1311 平日9:00~17:30 土日祝日は休み

申込書 FAX先：099-227-1758

担当: 檉 (あおき)